



そろえる材料は2つだけ! 新聞紙とセロハンテープで お手軽立体アートを作ろう!



「親子で楽しむ場を作ろう」と、県内各地で開催している、あれんじ主催のミニイベント「子育でパーク」。新型コロナウイルスの影響によるイベント延期のため、今回も特別編でお届けします。新聞紙とセロハンテープだけでできるお手軽立体アートを、アートクリエイターの東耕平さん=菊池市=に教えてもらいました。

文=山内麻希 写真=甘浦麻結

教えてくれたのは



菊池市地域おこし協力隊
アートクリエイター
東耕平さん(36)

菊池市地域おこし協力隊として、新聞紙で作る子ども向けの立体アートのワークショップを、菊池市を中心に県内外で開催している。京城大学非常勤講師。

親子でチャレンジ!! 新聞紙で立体アート

今回紹介するのは、どこのご家庭にもある新聞紙とセロハンテープで手軽に作れる本格アート。

「絵の具などを使わないので汚れないし、片付けも楽。しかも家計にもやさしいのがうれしいですよね」と菊池市地域おこし協力隊でアートクリエイターとして活動する東耕平さん。

上の写真の東さんの作品を見ると難しそうに感じますが、作り方を教わるうちにこんなに簡単なら、自分にもできそうという気持ちになってきます。

短時間で完成する気軽さが 次の「作りたい」を生む

新聞紙を破って、丸めてクシャクシャにして、柔らかくしてから、形にしていけます。東さんの手から次から次に首、手足とパーツが作られ、どんどんカメの形になっていきます。10分ほどであったという間に完成。子どもでも、30分もあればできるそうです。

「立体造形物を作る時、紙粘土だと乾くのを待つ時間が長いので、待ちきれない。新聞紙なら、待ち時間もなく、失敗しても気軽に作り直すこともできますからね」と東さん。

作り始めから完成までの時間が短いので、達成感を味わえます。飽きっぽい子どもでも、制作意欲をそそられ、次の「作りたい」が生まれる、それが大きな魅力です。

では、早速作ってみましょう!

STEP 2 首長竜



1 胴体になる部分をクシャクシャにして、イモのような形になるよう丸める。首は、細く長くしたいので、しっかりねじってテープを巻き付けるように貼り、固定する。これを繰り返して、首を作る。



2 首と同じようにねじってしっぽを作り、テープで胴体に留める。



3 足は葉っぱのように、薄く仕上げるために、折り紙のように折り込んで形を作る。



完成!!



4 新聞紙をちぎって、頭と口を別々に作る。首の先にテープで留めて完成!

+ プラス色紙

色紙を貼って作品をカラフルに

クリアファイルを敷いて接着剤をつけると、薄くつき、貼りやすいよ



1 色紙を貼りやすい大きさにちぎり、木工用接着剤で付ける。



2 お弁当用のピックがあれば、細かい部分の貼り付けの補助に活用できる!

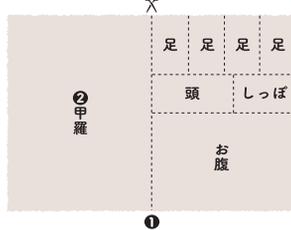


完成!!

形の作り方が分かれば、大きさも作るモチーフも何でもありです。新聞紙を使ってどんどん形にしていってくださいね!

STEP 1 カメ

前準備 新聞紙を破り、丸めてクシャクシャにする。柔らかくなり、形が作りやすい。



- 1 新聞紙を半分にちぎる。
- 2 甲羅をイメージした形に作る。
- 3 甲羅の形ができたなら、しっかりテープで留める。
- 4 上の図を目安にちぎり、頭を作る。
- 5 カメの足をイメージして形を作り、テープで固定する。4本の足を甲羅に付ける。



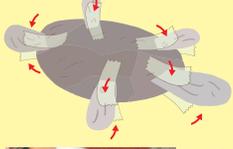
粘土だと思って作ってみて!



- 6 しっぽは、細くちぎった新聞紙をこよりのようにねじり、テープを縦長に貼って巻きつけて、甲羅に付ける。
- 7 お腹は、せんべいのような形で甲羅より少し小さく作る。甲羅の裏にテープで貼り付けて完成!

Point パーツの付け方

表と裏の2カ所、甲羅と各パーツを狭むようにテープを貼る。



腹ににくくると!



+ プラス色紙

色紙を貼って作品をカラフルに



東さんの作品



色紙折り紙などを使ってカラフルに仕上げた作品